



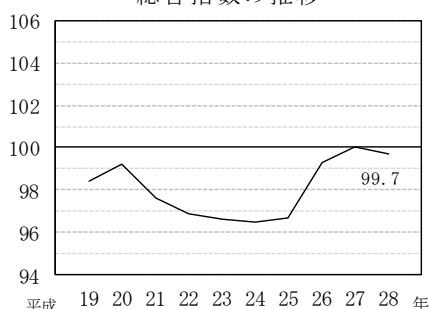
長野市の消費者物価指数 —2015年基準— 平成28年平均(確報値)をお知らせします

総合指数は、2015年(平成27年)を100として99.7となり、前年比は0.3%下落しました。

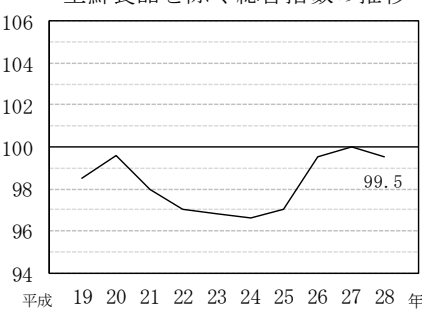
生鮮食品を除く総合指数は99.5となり、前年比は0.5%下落しました。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は100.4となり、前年比は0.4%上昇しました。

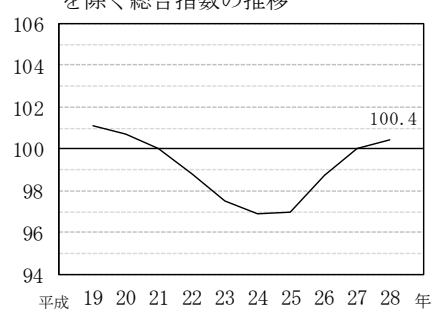
総合指数の推移



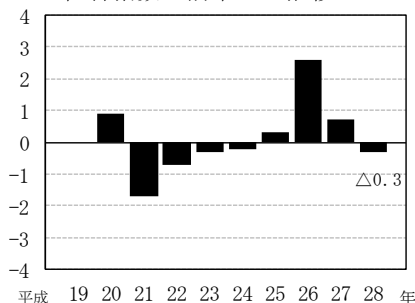
生鮮食品を除く総合指数の推移



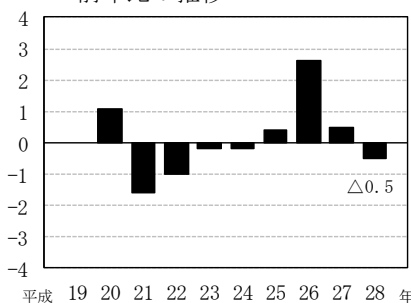
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



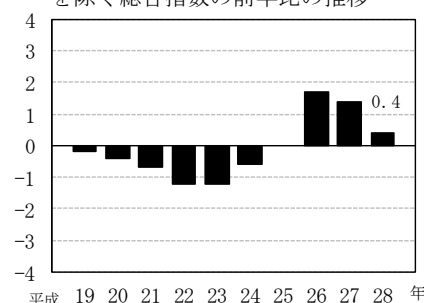
(%) 総合指数の前年比の推移



(%) 生鮮食品を除く総合指数の前年比の推移



(%) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前年比の推移



(注) 前年比の数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、公表された指数を用いて算出した値とは一致しない場合があります。

* 「長野市の消費者物価指数」は、インターネットでも提供しています。

アドレス http://www3.pref.nagano.lg.jp/tokei/1_shohishabukka/shohi.htm

* この資料は、「総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票情報」の長野市内価格を集計したものです。

* 消費者物価指数についての詳細は、総務省統計局のホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.stat.go.jp/data/cpi/index.htm>

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進中

オール信州で取り組む 地消○地産

「地域の消費」と「地域の生産」を結んで
地域内経済循環の輪を広げます。

企画振興部情報政策課統計室統計第二係
(室長)武井 新彦 (担当)山本 英史
(電話)026-235-7073(直通)

026-232-0111(代表)内線5114

FAX 026-235-0517

E-mail tokei@pref.nagano.lg.jp

1 近年の総合指数の動き

2015年=100
(平成27年=100)

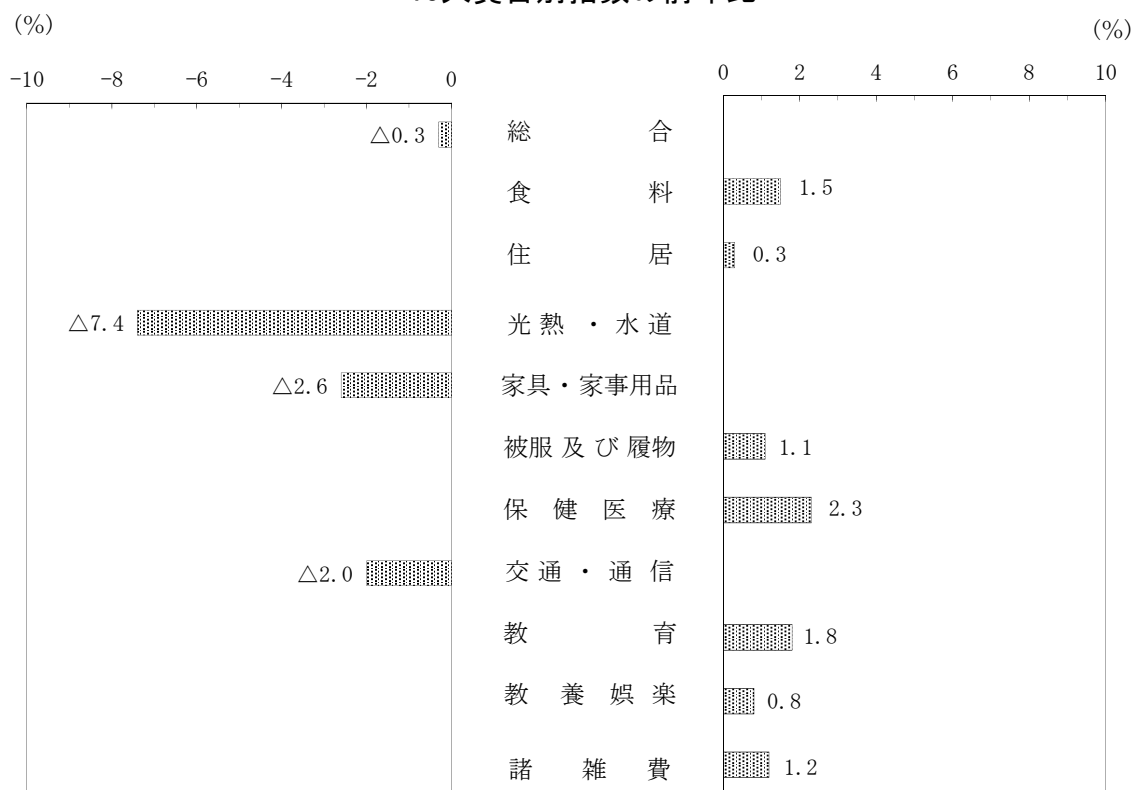
区分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
指数	98.4	99.2	97.6	96.9	96.6	96.5	96.7	99.3	100.0	99.7
前年比(%)	0.0	0.9	△ 1.7	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.2	0.3	2.6	0.7	△ 0.3

2 10大費目別指数

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
ウェイト	10000	2507	1997	812	352	403	410	1642	215	1025	638
指数	99.7	101.5	100.3	92.6	97.4	101.1	102.3	98.0	101.8	100.8	101.2
前年比(%)	△ 0.3	1.5	0.3	△ 7.4	△ 2.6	1.1	2.3	△ 2.0	1.8	0.8	1.2

(注)ウェイト:総合と10大費目の合計は、端数処理のため一致していない。

10大費目別指数の前年比



消費者物価指数（長野市）

平成28年平均 確報値

2015年=100
(平成27年=100)

10大費目別

分類	指数	前年比
		%
総合	99.7	△0.3
食料	101.5	1.5
穀類	97.9	△2.1
魚介類	104.9	4.9
生鮮魚介	106.1	6.1
肉類	102.0	2.0
乳卵類	100.8	0.8
野菜・海藻	102.9	2.9
生鮮野菜	104.4	4.4
果物	107.4	7.4
生鮮果物	108.1	8.1
油脂・調味料	100.1	0.1
菓子類	101.3	1.3
調理食品	102.0	2.0
飲料	97.5	△2.5
酒類	100.3	0.3
外食	100.8	0.8
住居	100.3	0.3
家賃	100.5	0.5
設備修繕・維持	99.6	△0.4
光熱・水道	92.6	△7.4
電気代	89.4	△10.6
ガス代	96.3	△3.7
他の光熱	72.5	△27.5
上下水道料	100.0	0.0
家具・家事用品	97.4	△2.6
家庭用耐久財	88.5	△11.5
室内装備品	99.3	△0.7
寝具類	93.8	△6.2
家事雑貨	110.4	10.4
家事用消耗品	98.7	△1.3
家事サービス	99.5	△0.5
被服及び履物	101.1	1.1
衣料	100.6	0.6
和服	99.9	△0.1
洋服	100.7	0.7
シャツ・セーター・下着類	102.4	2.4
シャツ・セーター類	101.6	1.6
下着類	104.4	4.4

分類	指数	前年比
		%
履物類	102.3	2.3
他の被服	98.5	△1.5
被服関連サービス	100.6	0.6
保健医療	102.3	2.3
医薬品・健康保持用摂取品	100.7	0.7
保健医療用品・器具	105.7	5.7
保健医療サービス	101.8	1.8
交通・通信	98.0	△2.0
交通	99.9	△0.1
自動車等関係費	97.1	△2.9
通信	99.2	△0.8
教育	101.8	1.8
授業料等	103.2	3.2
教科書・学習参考教材	100.4	0.4
補習教育	100.1	0.1
教養娯楽	100.8	0.8
教養娯楽用耐久財	99.8	△0.2
教養娯楽用品	101.8	1.8
書籍・他の印刷物	100.4	0.4
教養娯楽サービス	100.7	0.7
諸雑費	101.2	1.2
理美容サービス	100.0	0.0
理美容用品	101.0	1.0
身の回り用品	105.2	5.2
たばこ	101.2	1.2
他の諸雑費	101.2	1.2
別掲		
生鮮食品	105.8	5.8
生鮮食品を除く総合	99.5	△0.5
生鮮食品を除く食料	100.7	0.7
持家の帰属家賃を除く総合	99.7	△0.3
持家の帰属家賃を除く住居	100.6	0.6
持家の帰属家賃を除く家賃	101.9	1.9
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	99.4	△0.6
エネルギー	89.4	△10.6
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	100.4	0.4
教育関係費	102.7	2.7
教養娯楽関係費	100.5	0.5
情報通信関係費	99.3	△0.7

3 費目別指数の動き

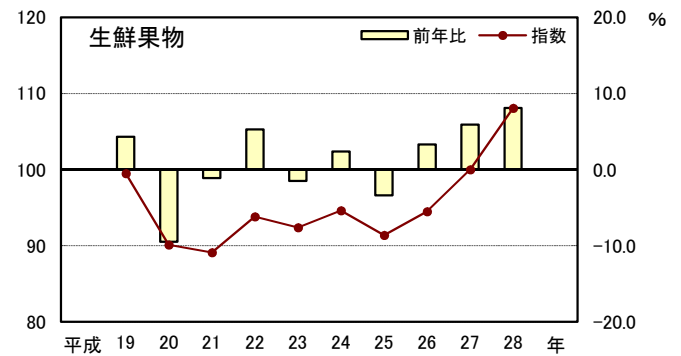
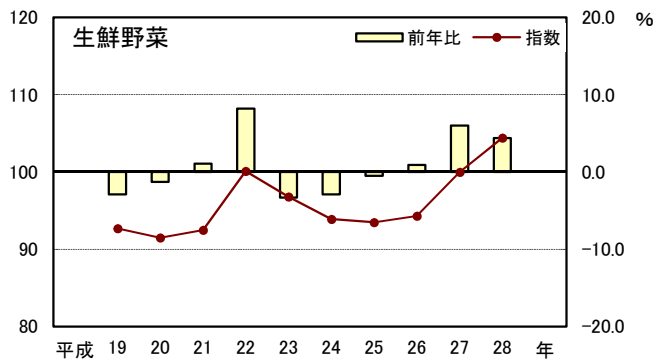
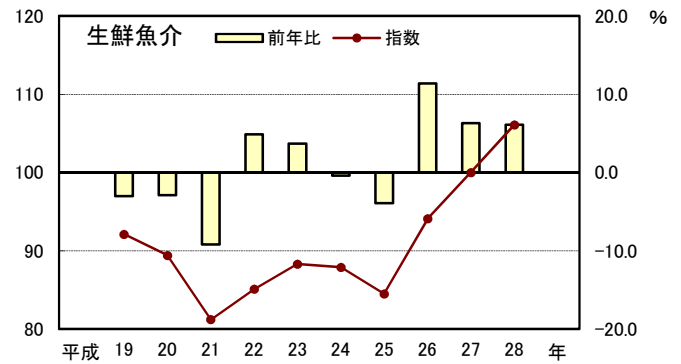
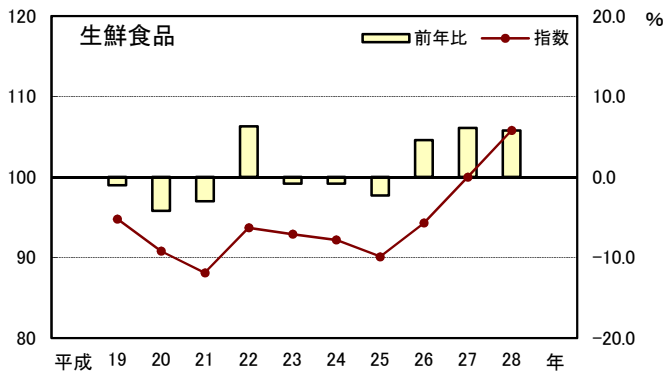
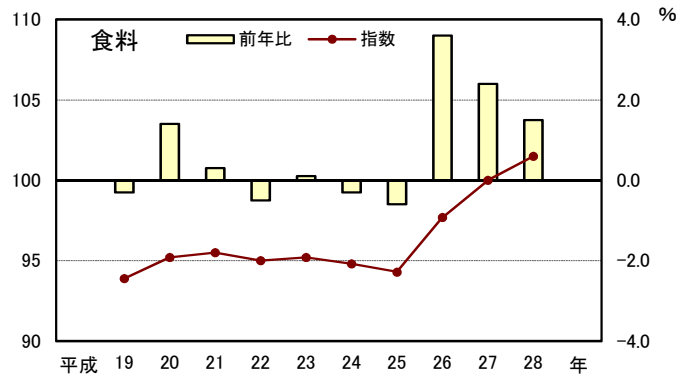
(1) 食料

年平均指数は101.5となり、前年比は1.5%上昇しました。

内訳をみると、「果物」は7.4%、「魚介類」は4.9%、「野菜・海藻」は2.9%、「肉類」及び「調理食品」は2.0%、「菓子類」は1.3%、「乳卵類」及び「外食」は0.8%、「酒類」は0.3%、「油脂・調味料」は0.1%それぞれ上昇しました。一方、「飲料」は2.5%、「穀類」は2.1%それぞれ下落しました。

生鮮食品についてみると、「生鮮果物」は8.1%、「生鮮魚介」は6.1%、「生鮮野菜」は4.4%それぞれ上昇しました。

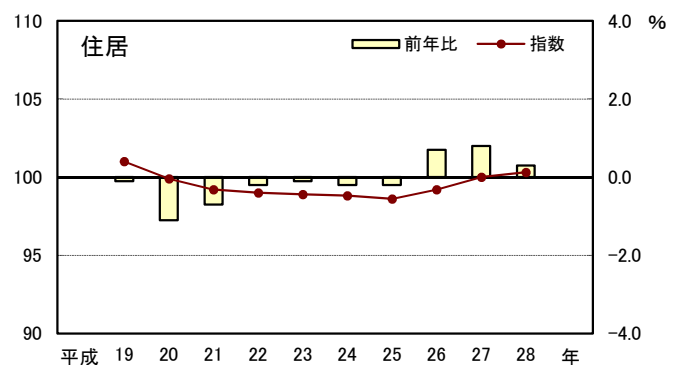
「生鮮食品」全体では、年平均指数105.8となり、前年比は5.8%上昇しました。



(2) 住居

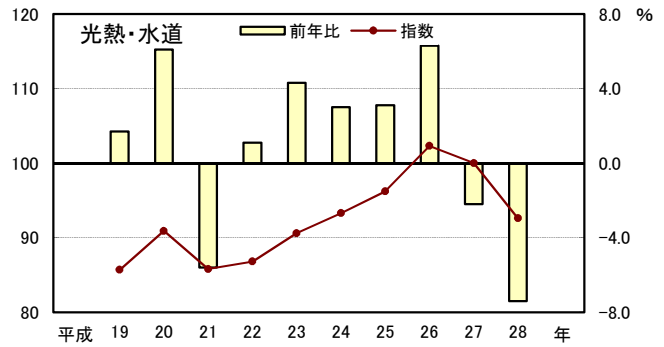
年平均指数は100.3となり、前年比は0.3%上昇しました。

内訳をみると、「家賃」が0.5%上昇しました。一方、「設備修繕・維持」は0.4%下落しました。



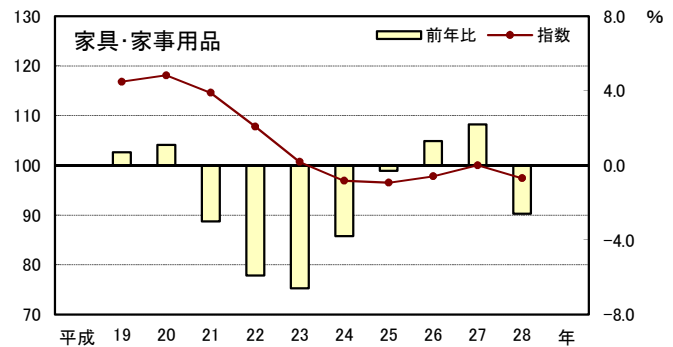
(3) 光熱・水道

年平均指数は92.6となり、前年比は7.4%下落しました。
 内訳をみると、「他の光熱」は27.5%、「電気代」は10.6%、「ガス代」は3.7%それぞれ下落しました。
 また、「上下水道料」は前年と同水準でした。



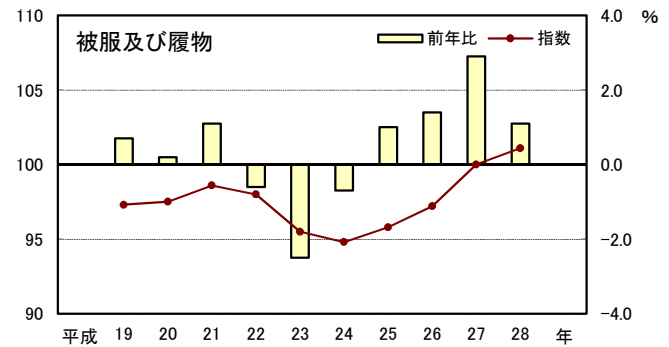
(4) 家具・家事用品

年平均指数は97.4となり、前年比は2.6%下落しました。
 内訳をみると、「家庭用耐久財」は11.5%、「寝具類」は6.2%、「家事用消耗品」は1.3%、「室内装備品」は0.7%、「家事サービス」は0.5%それぞれ下落しました。一方、「家事雑貨」は10.4%上昇しました。



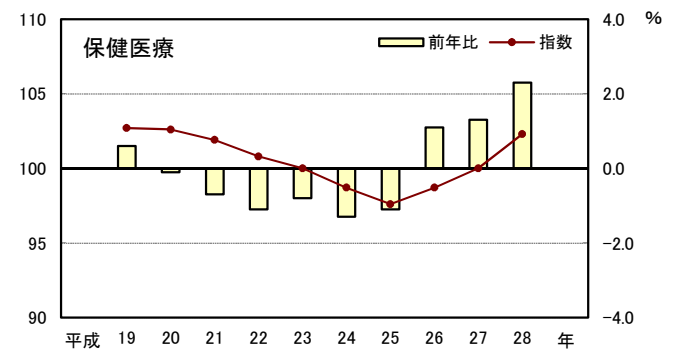
(5) 被服及び履物

年平均指数は101.1となり、前年比は1.1%上昇しました。
 内訳をみると、「履物類」は2.3%、「下着類」は4.4%、「シャツ・セーター類」は1.6%、「洋服」は0.7%、「被服関連サービス」は0.6%それぞれ上昇しました。一方、「他の被服」は1.5%、「和服」は0.1%下落しました。



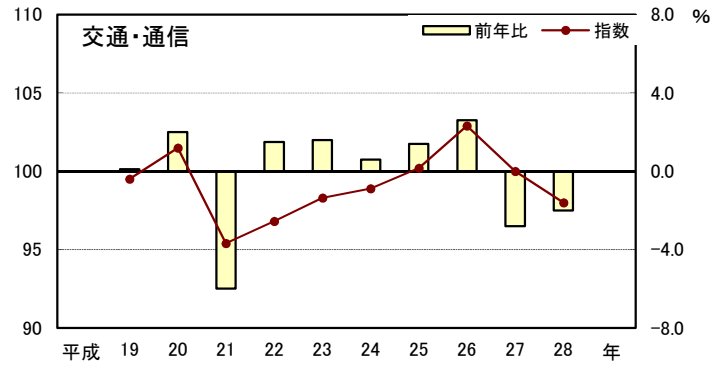
(6) 保健医療

年平均指数は102.3となり、前年比は2.3%上昇しました。
 内訳をみると、「保健医療用品・器具」は5.7%、「保健医療サービス」は1.8%、「医薬品・健康保持用摂取品」は0.7%それぞれ上昇しました。



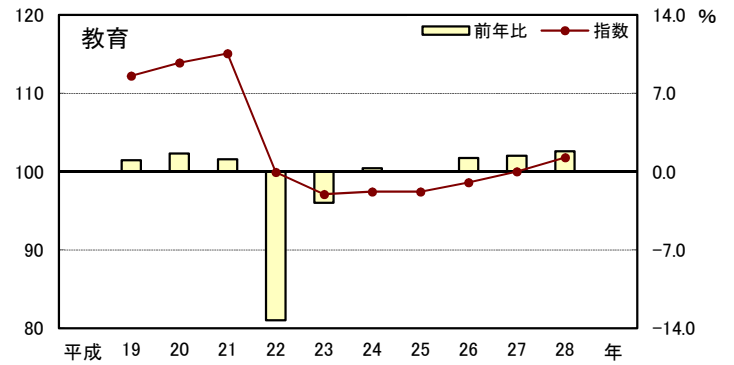
(7) 交通・通信

年平均指数は98.0となり、前年比は2.0%下落しました。
 内訳をみると、「自動車等関係費」は2.9%、「通信」は0.8%、「交通」は0.1%下落しました。



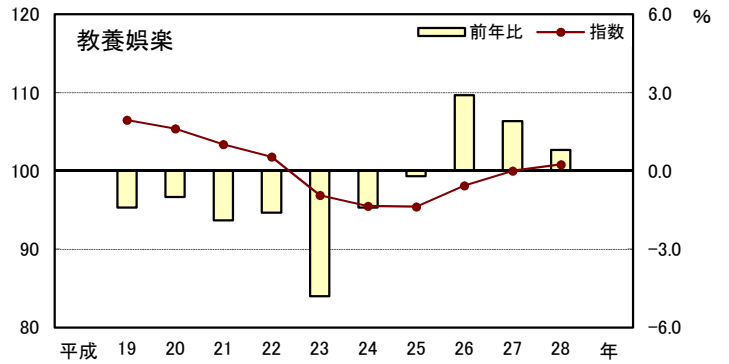
(8) 教育

年平均指数は101.8となり、前年比は1.8%上昇しました。
 内訳をみると、「授業料等」は3.2%、「教科書・学習参考教材」は0.4%、「補習教育」は0.1%それぞれ上昇しました。



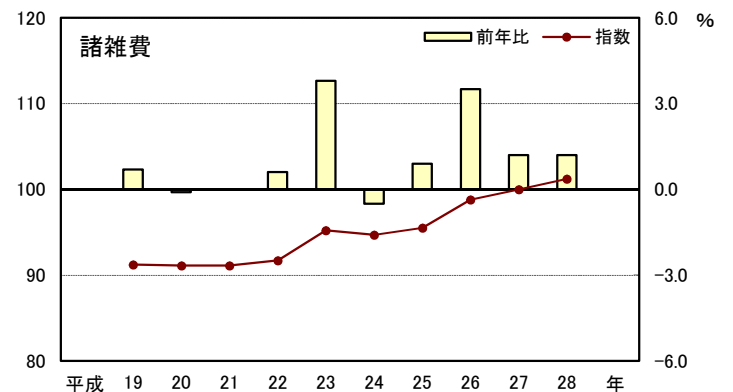
(9) 教養娯楽

年平均指数は100.8となり、前年比は0.8%上昇しました。
 内訳をみると、「教養娯楽用品」は1.8%、「教養娯楽サービス」は0.7%、「書籍・他の印刷物」は0.4%それぞれ上昇しました。一方、「教養娯楽用耐久財」は0.2%下落しました。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.2となり、前年比は1.2%上昇しました。
 内訳をみると、「身の回り用品」は5.2%、「たばこ」は1.2%、「他の諸雑費」は1.2%、「理美容用品」は1.0%それぞれ上昇しました。
 また、「理美容サービス」は前年と同水準でした。



2015年基準 都市別消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

2015年=100
(平成27年=100)

区 分		長 野 市		全 国		東京都区部	
		指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)
年 別	平成17年	97.9	0.1	97.6	△0.1	99.4	△0.4
	18年	98.5	0.6	97.7	0.1	99.4	0.0
	19年	98.5	0.0	97.7	0.0	99.4	0.0
	20年	99.6	1.1	99.1	1.5	100.4	1.0
	21年	98.0	△1.6	97.9	△1.3	99.4	△1.0
	22年	97.0	△1.0	96.9	△1.0	98.2	△1.2
	23年	96.8	△0.2	96.6	△0.3	97.8	△0.4
	24年	96.6	△0.2	96.6	△0.1	97.3	△0.5
	25年	97.0	0.4	96.9	0.4	97.3	0.1
	26年	99.5	2.6	99.5	2.6	99.4	2.2
	27年	100.0	0.5	100.0	0.5	100.0	0.6
	28年	99.5	△0.5				
	年 度 別	平成16年度	97.8	0.1	97.6	△0.2	99.7
17年度		98.0	0.2	97.6	0.1	99.4	△0.2
18年度		98.5	0.5	97.7	0.1	99.4	0.0
19年度		98.7	0.2	98.0	0.3	99.5	0.1
20年度		99.4	0.7	99.1	1.2	100.6	1.1
21年度		97.8	△1.6	97.6	△1.6	99.0	△1.6
22年度		96.9	△0.8	96.7	△0.8	98.0	△0.9
23年度		96.8	△0.1	96.7	0.0	97.7	△0.3
24年度		96.6	△0.3	96.5	△0.2	97.1	△0.6
25年度		97.3	0.7	97.2	0.8	97.5	0.4
26年度		100.1	2.9	100.0	2.8	100.0	2.5
27年度		99.9	△0.3	100.0	0.0	100.0	0.0